

2019年度 第2四半期(上期)決算

株式会社フジクラ

2019年10月31日

目次

1. 2019年度上期決算概要及び年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

1. 2019年度上期決算概要及び年度予想

2019年度上期決算概要及び年度予想

(単位:億円)

	2018年度			2019年度			2019年度 (公表値5.14)	
	上期	下期	年度	上期	下期 予想	年度 予想	上期	年度
売上高	3,636	3,471	7,107	3,434	3,365	6,800	3,400	6,900
営業利益	142	134	276	57	97	155	130	280
営業利益率 (%)	3.9	3.9	3.9	1.7	2.9	2.3	3.8	4.1
持分法投資損益	4	8	12	8	9	17	6	12
経常利益	96	114	210	49	80	130	120	270
親会社株主に帰属する 当期純利益	4	9	14	8	1	10	60	120
1株当たり当期純利益(円)	1.59	3.50	5.09	2.85	0.78	3.54	21.03	42.06
1株当たり配当(円)	7.00	5.00	12.00	5.00	5.00	10.00	5.00	10.00
自己資本利益率(ROE)(%)	0.4	—	0.7	0.8	—	0.5	—	5.4
為替換算レート(USD/JPY)	110.27	111.62	110.93	108.61	105.00	105.00	105.00	105.00
銅ベース(千円/トン)	760	733	747	692	740	740	740	740

【前年同期比】

- エネルギー・情報通信カンパニーの情報通信事業部門において中国を中心に光関連製品の競争が激化した影響を受けたこと及び電子電装・コネクタカンパニーにおいてスマートフォン向けFPCの需要停滞、これに伴う競争激化の影響を受けたこと等により営業利益、経常利益ともに減益。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少はあったものの特別損失の減少などにより前年並み。

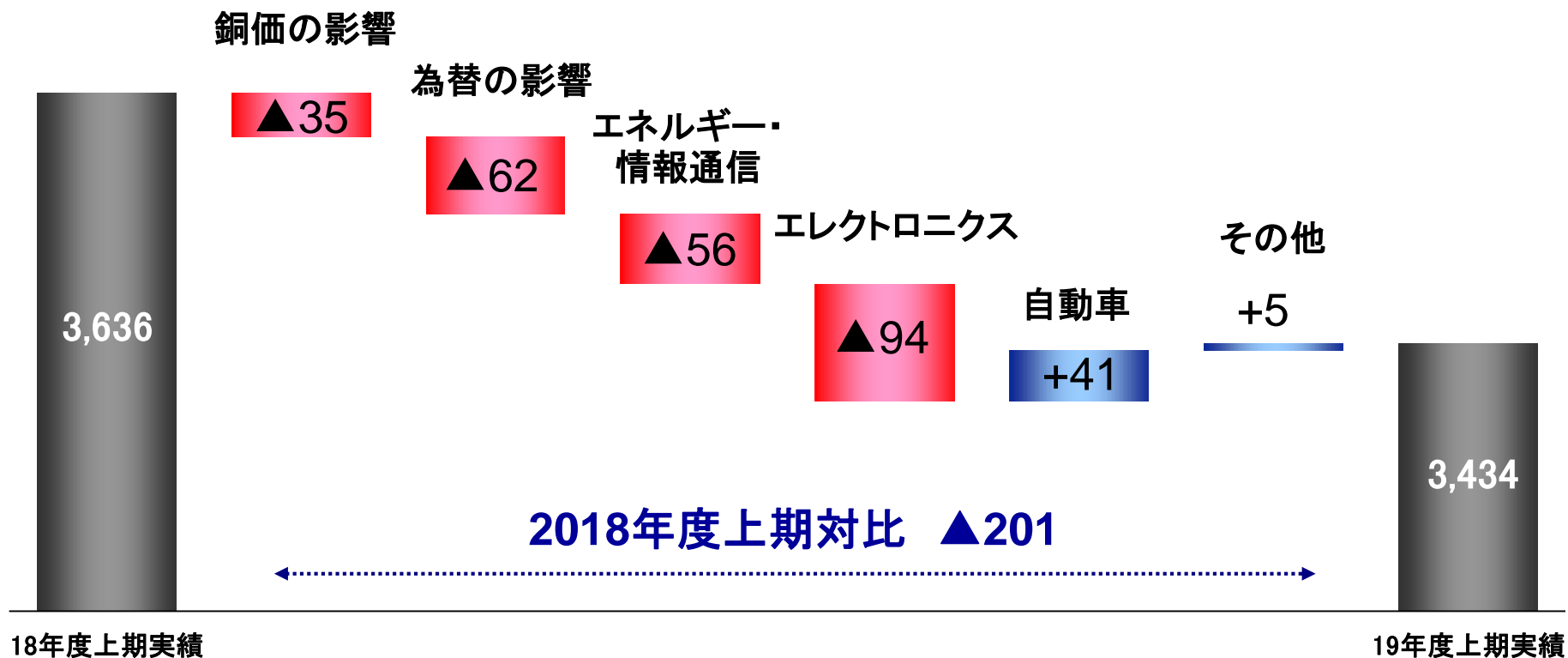
【年度予想（前回公表の業績予想対比）】

- 上期に引き続き、光関連製品、FPCともに競争激化の影響が予想されることに加え、エネルギー事業部門及び自動車サブカンパニーを中心に収益改善に向けての事業構造改善費用を計上する見込みであることから、売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は減少する見通し。

2019年度上期 売上高の増減要因(前年同期比)

売上高

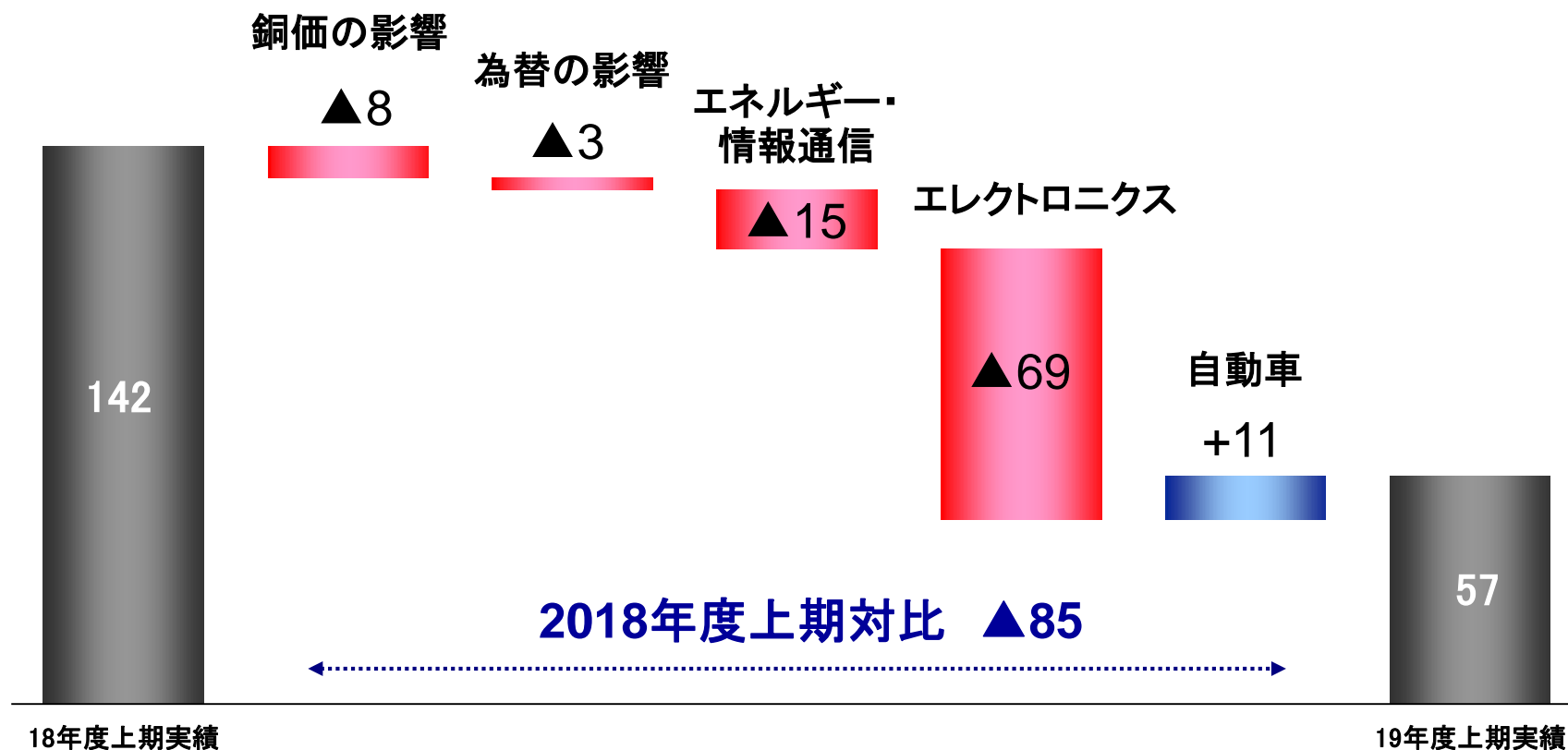
(単位:億円)



2019年度上期 営業利益の増減要因(前年同期比)

営業利益

(単位:億円)



2019年度上期 特別損益及び税金項目

特別損益

(単位: 億円)

	2018年度			2019年度 上期
	上期	下期	年度	
営業利益	142	134	276	57
持分法投資損益	4	8	12	8
経常利益	96	114	210	49
特別利益	50	7	57	67
特別損失	103	59	162	71
税引前当期純利益	43	61	105	46
税金費用	29	46	75	29
非支配株主に帰属する 当期純利益	9	5	14	8
親会社株主に帰属する 当期純利益	4	9	14	8

特別損益計 $\Delta 4$ 億円

- ・投資有価証券評価益及び売却益 +42億円
- ・ブラジル関連損失 $\Delta 33$ 億円
 - ・債務保証損失引当金戻入額 (+25億円)
 - ・関係会社出資金評価損等 ($\Delta 58$ 億円)
- ・タイにおける労働者保護法改正に伴う過去勤務費用 $\Delta 8$ 億円等

B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	19年3月末	19年9月末	増減
〈資産〉	6,383	6,492	+109
流動資産	3,232	3,252	+19
現金及び預金	367	368	+0
受取手形及び売掛金	1,415	1,521	+105
たな卸資産	1,178	1,153	▲24
固定資産	3,150	3,240	+90
有形固定資産	2,315	2,314	▲1
リース資産	2	72	+69
無形固定資産	117	141	+23
小計	2,435	2,527	+91
投資その他の資産	715	713	▲1

エレクトロニクスカンパニーにおいて季節的要因により増加

IFRS16(リース)適用による影響
リース資産 +68億円

B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	19年3月末	19年9月末	増減
負債純資産合計	6,383	6,492	+109
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲62)	(+0)
〈負債〉	3,974	4,216	+242
支払手形及び買掛金	649	723	+73
有利子負債(借入金・社債)	2,535	2,736	+201
リース債務(流動・固定)	2	62	+59
その他負債	786	694	▲92
〈純資産〉	2,409	2,275	▲133
株主資本	2,075	2,053	▲22
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲62)	(+0)
その他の包括利益累計額	90	25	▲65
非支配株主持分	242	197	▲45

運転資金及び関係会社
投資等による増加

IFRS16(リース)適用による影響
リース債務(流動・固定) +58億円

2. セグメント情報

セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高

セグメント	18年度 上期実績	19年度 上期実績	増減	19年度 下期予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	1,790	1,674	▲116	1,733
エレクトロニクス サブカンパニー	988	884	▲103	767
自動車 サブカンパニー	777	790	+12	780
電子電装・コネクタ カンパニー	1,765	1,674	▲90	1,547
不動産 カンパニー	54	56	+2	55
その他	25	28	+3	29
合計	3,636	3,434	▲201	3,365

営業利益及び営業利益率

18年度 上期実績	19年度 上期実績	増減	19年度 下期予想
71	44	▲27	69
4.0%	2.7%	▲1.4%	4.0%
67	▲2	▲70	9
6.8%	▲0.3%	▲7.1%	1.3%
▲21	▲10	+11	▲4
▲2.8%	▲1.3%	+1.5%	▲0.6%
45	▲12	▲58	5
2.6%	▲0.8%	▲3.3%	0.4%
25	27	+2	25
46.3%	48.9%	+2.6%	44.8%
0	▲1	▲1	▲1
142	57	▲85	97
3.9%	1.7%	▲2.2%	2.9%

※2019年度より自動車電装カンパニーは、従来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。

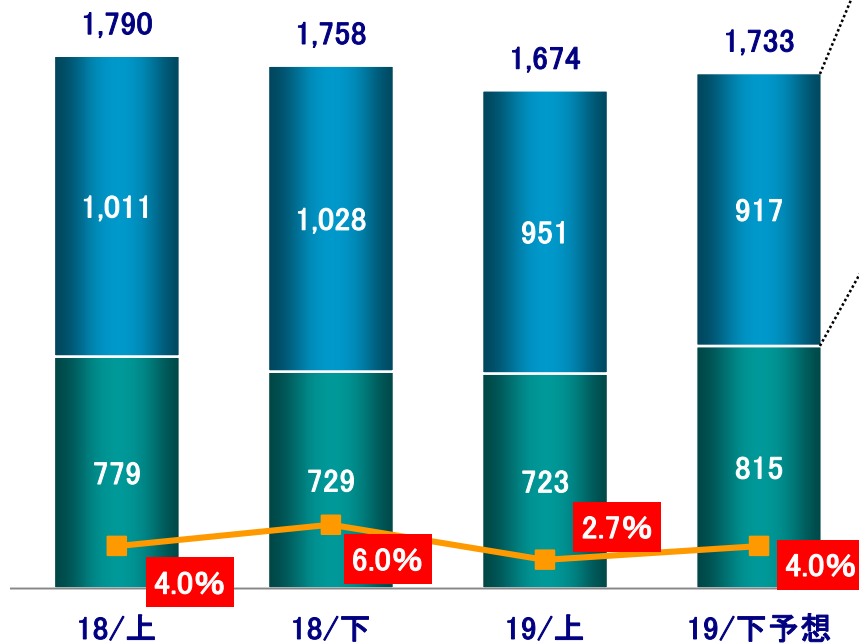
エネルギー・情報通信カンパニー

- 前年同期比で上期実績は、エネルギー事業部門で18年度の Bangladesh 送電線工事のコスト増の反動による赤字縮小はあったものの、情報通信事業部門で中国の光関連製品の競争激化の影響があったことなどにより減収減益。
- 上期実績対比で下期は、品種構成の良化などにより増収増益を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



エネルギー

- 上期実績は、銅価下落の影響や、中国の送電線製造会社売却の影響で減収。
- 下期は、19-1Qにおける中国送電線製造会社売却の影響で減収を見込む。

情報通信

- 上期実績は、中国の光関連製品の競争激化などにより減収。
- 下期は、光関連製品の拡販や海外FTTx工事の増加などにより増収を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

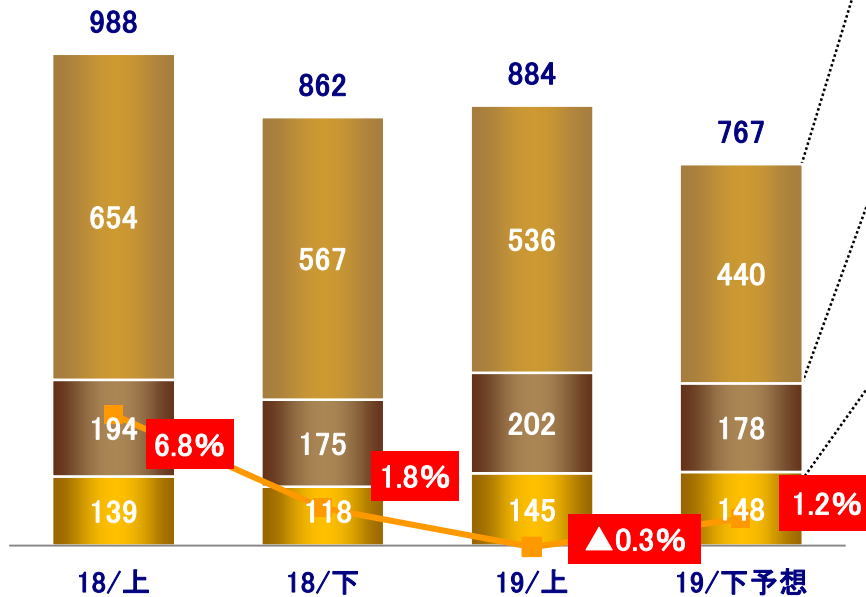
エレクトロニクスサブカンパニー

- 前年同期比で上期実績の売上高は、FPCを中心にスマートフォン向けで減収となった。営業利益は、減収に伴う固定費負担増により減益となった。
- 上期実績対比で下期は、スマートフォン向け製品の季節要因で減収を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



FPC
<ul style="list-style-type: none"> ■ 上期実績は、スマートフォン向けを中心に減収。 ■ 下期は、スマートフォン向けの季節要因により減収を見込む。
コネクタ
<ul style="list-style-type: none"> ■ 上期実績の売上高は、前年同期並み。 ■ 下期は、スマートフォン向けの季節要因により減収を見込む。
その他
<ul style="list-style-type: none"> ■ 上期実績の売上高は、前年同期並み。 ■ 下期は、上期並みの売上を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

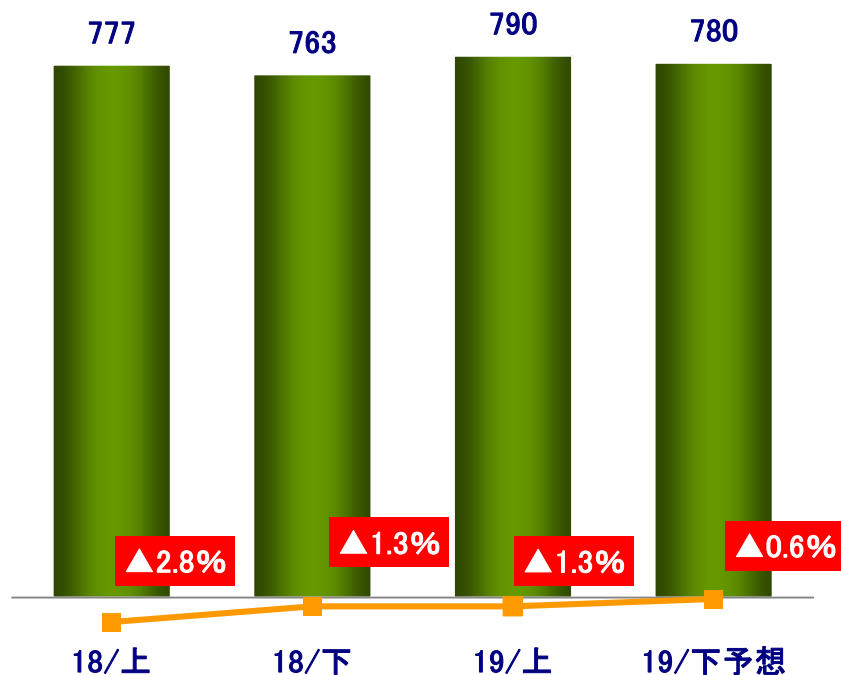
自動車サブカンパニー

- 上期実績の売上高は、ほぼ前年同期並み。生産性改善に引き続き取り組んでいく。
- 上期実績対比で下期は、欧州を中心に生産性を改善し、赤字縮小を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

営業利益率



自動車関連

- 上期実績の売上高は、ほぼ前年同期並み。
- 下期は、欧州を中心に生産性を改善し、赤字縮小を見込む。

コメント 上段: 上期実績、前年同期比
下段: 下期予想、上期実績対比

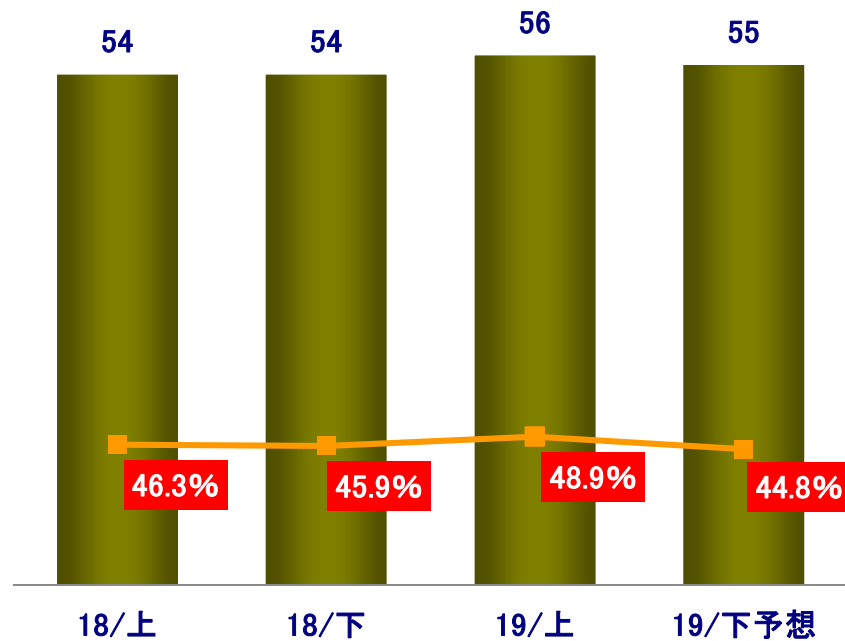
不動産カンパニー

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

— 営業利益率



不動産

■ 引き続き安定的な賃料収入を見込む。

設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2018年度		2019年度 上期	2019年度 予想 (5.14)
	上期	年度		
設備投資	332	557	196	370
(内製造事業)	324	543	187	355
(内不動産事業)	8	13	8	15
減価償却費	154	315	177	370
(内製造事業)	144	294	167	350
(内不動産事業)	10	20	9	20

有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2018年度			2019年度
	上期	下期	年度	上期
有利子負債	2,694	2,535	2,535	2,736
金融収支	▲9	▲10	▲20	▲10
フリーキャッシュフロー	▲188	164	▲23	▲183

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

3. 株主還元

利益還元

■ 20中期基本方針 配当性向 20%以上

■ 2019年度予想

◆ 配当10.0円/株(中間5.0円/株、期末5.0円/株、28億円)

18年度実績 12.0円/株(中間7.0円/株、期末5.0円/株)

(18年度対比2.0円減配)

◆ 2016～2019年度予想 累計 当期純利益 337億円

配当性向 38.9%

◆ 自己株式の取得 2019年度下期 10百万株/55億円

2016～2019年度予想 累計 総還元性向 78.7%



注記: 本資料は19年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。19年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2019年度 第2四半期 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

単位:億円

事業セグメント別 売上高 推移

	2018年度							2019年度					2019年度 公表値(5.14)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	年度予想	上期予想
エネルギー事業部門	501	509	524	503	1,011	1,028	2,039	481	470	951	917	1,869	929
情報通信事業部門	394	384	388	341	779	729	1,508	359	363	723	815	1,539	813
エネルギー・情報通信カンパニー	896	894	912	845	1,790	1,758	3,548	840	833	1,674	1,733	3,408	1,743
FPC	255	398	383	184	654	567	1,221	189	346	536	440	977	544
コネクタ	83	110	106	69	194	175	370	74	127	202	178	380	168
その他	67	72	61	56	139	118	258	61	84	145	148	293	119
エレクトロニクスサブカンパニー	406	581	551	310	988	862	1,850	325	558	884	767	1,651	832
自動車サブカンパニー	433	344	390	373	777	763	1,541	414	376	790	780	1,570	739
電子電装・コネクタカンパニー	839	926	941	684	1,765	1,626	3,392	740	934	1,674	1,547	3,222	1,572
不動産カンパニー	27	26	27	27	54	54	108	28	28	56	55	112	56
その他	12	12	16	16	25	32	58	14	14	28	29	57	27
合計	1,776	1,859	1,898	1,573	3,636	3,471	7,107	1,623	1,811	3,434	3,365	6,800	3,400

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信カンパニー	54	16	47	58	71	105	177	19	25	44	69	114	63
エレクトロニクスサブカンパニー	9	57	41	△ 25	67	15	83	△ 28	26	△ 2	9	6	48
自動車サブカンパニー	△ 2	△ 19	△ 1	△ 8	△ 21	△ 10	△ 32	△ 1	△ 8	△ 10	△ 4	△ 14	△ 6
電子電装・コネクタカンパニー	6	38	39	△ 33	45	5	51	△ 30	17	△ 12	5	△ 7	41
不動産カンパニー	13	12	12	12	25	25	50	14	12	27	25	52	26
その他	0	△ 0	△ 0	△ 1	0	△ 2	△ 2	△ 0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3	△ 1
合計	75	67	98	35	142	134	276	2	54	57	97	155	130

※2019年度より自動車電装カンパニーは、従来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーと口
なっております。それに伴い、2018年度の数字を組替再表示しております。

株式会社フジクラ